

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダーによる相互啓発と共同研究会

メンバー
募集

第19期

品質革新 マネジメントフォーラム

開催にあたって

わが国企業ではグローバル競争が厳しい折り、日本の強みを生かした“モノづくり改革”にはさらなる独創性の創出が必須であり、その業務推進、戦略策定にあたっては、日本の品質管理の「伝統」を活かしながら「品質重視の経営スタイル」を目指す新たな動きが求められてきております。

当会ではこれらの問題意識に立脚し、2000年度より、業種・業界を越えた品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダーの異業種研究交流会として本フォーラムを発足致しました。

各社で抱える問題点や課題について、胸襟を開いた相互啓発とメンバー交流を通じ、他では得難い共感と親睦を深め、新たなる活力を体得頂くことが本フォーラムのねらいです。

第19期を迎えるにあたり、問題意識の高い熱意のある方々のご参加をお待ちしております。

正式入会をご検討中の方は、第1回例会に限り体験参加頂けます(要事前予約)。

第1回例会 (基調講演・オリエンテーション・懇親会)

2018年10月31日(水) 13:00~18:00

会場:アイビーホール(東京・表参道)

【基調講演】

『スマートプロセス時代の品質保証部門の役割 ～オペレーションからイノベーションへ～』

東京工業大学 名誉教授 工学博士 技術士(情報処理部門) 長田 洋 氏



(ご略歴)70年3月 東京大学工学部卒業、72年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、その後、旭化成(株)にて特殊樹脂開発部長、機能樹脂開発部長として事業企画、新商品開発、海外戦略立案、品質管理などに従事し、(株)旭リサーチセンター取締役を歴任。99年4月~05年3月 山梨大学教授・大学院持続社会形成専攻。05年4月~13年3月 東京工業大学大学院教授。14年4月~18年3月 文教大学情報学部教授、93年~15年 慶応義塾大学理工学部非常勤講師、18年10月~エチオピア・Mekelle 大学大学院客員教授。表彰、功労賞、専門委員、外部委員、著書など多数。

グループディスカッション/オリエンテーション/メンバー相互の交流会

第2回例会 (見学会と合宿研究会)

2018年12月14日(金)~15日(土)

会場:静岡県御殿場市方面での宿泊研修を予定

【見学会】(株)オカムラ 御殿場事業所の見学と品質保証体制についての意見交流

(注) ご同業企業様は見学いただけない場合がございます。予めご了承下さい。

【合宿研究会】 テーマ別グループ討議の発足に向けての課題抽出・意見交流

第3回例会 (ゲスト講演とグループ別討議)

2019年1月17日(木) 13:00~17:00

会場:アイビーホール(東京・表参道)

【ゲスト講演】『M&Aプロセスにおける品質保証部門の役割(仮題)』

A.T.カーニー(株) プリンシパル 窪川 泰 氏



*当日10:30~12:00は【チュートリアルコース「基本に立ち返って考えるQMS入門」/講演: H2 Lab代表 原 博氏(フォーラムアドバイザー)を開催いたします。

第4回例会 (アドバイザー講演とグループ別討議)

2019年2月7日(木) 13:00~17:00

会場:アイビーホール(東京・表参道)

【アドバイザー講演】『品質最優先の経営革新 ~品質を挺にした経営~』

オフィスM企画 代表 松浦 強 氏
(フォーラムアドバイザー、元オリンパス(株)品質環境本部長)



フォーラムの構成と運営要領

◆ 基本理念

本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げ、主体的にその見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。

◆ メンバー

本社・事業部・工場の品質保証部門、CSR／環境安全部門等の責任者・マネージャー・ご担当者を対象とします。また、参加メンバーはギブアンドテイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、その成果はメンバー間で共有するものとします。

◆ 開催期間 2018年10月～2019年9月（全10会合）

◆ 会場 東京都内会議室 *主に、東京・表参道「アイビーホール」で実施。

*合宿研究会や見学会等は主に地方開催となります。詳細が決まり次第ご案内致します。

◆ 例会日と例会連絡 例会の詳細は、事前にEメールにてご案内を差し上げます。

原則として「年間プログラム」の開催日程に沿って開催（13:00～17:00）

◆ 運営幹事（会社名50音順）

*メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂くとともに、グループ討議の進行・運営サポートを頂きます。

森本 潤 氏 (株)アルバック 生産本部 品質保証部 部長

香取 知 氏 グローリー(株) 品質保証本部 リテール品質保証部 品質保証1Gグループマネージャー

渡邊 淳 氏 小林製薬(株) 信頼性保証本部 品質保証監査部 部長

今川 忠憲 氏 シーシーエス(株) 生産部門 製造部 兼 品質管理課 部長

森馬 洋 氏 住友化学(株) 情報電子化学品質保証室 主席部員

佐藤 勇一 氏 東芝マイクロエレクトロニクス(株) 経営企画部 参事

黒木 信宏 氏 富士フイルム(株) CSR推進部 環境・品質マネジメント部 技術マネージャー

臼井 剛 氏 ヤマハ(株) 品質保証部 品質企画グループ 主幹

◆ アドバイザー *本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

松浦 強 氏 ジャパンフーズ(株) 監査役／オフィスM企画 代表（元オリンパス(株) 品質環境本部長）

原 博 氏 H2 Lab. 代表（元富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長）

一柳 高人 氏 MS2i 代表（元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部品質推進グループ課長）

※8月末日現在

今期（第19期）のグループ討議・4つのテーマについて

グループ	討議テーマとポイント
A	品質戦略と方針展開 ～事業と連携したQMS～ 当グループでは、①QMSの活用による『儲かる』事業への変革、トップ方針を受けた組織目標への展開方法、②開発・設計プロセスの管理と品質保証プロセスの連携、③トップ診断の効果的運用等々の視点・課題意識を掲げ、これらについて参加者の現状と課題、問題意識を抽出・共有した上で、討議したい、また深堀したいポイントを選択頂きながらグループ討議を進めてまいります。
B	グローバル生産における課題共有と解決に向けて 当グループでは、「グローバル生産」をキーワードに様々な課題について、Give&Takeの精神のもと、①海外拠点と日本本社との役割、関与の仕方、②生産と品質におけるIoT/AIの活用と効果、③グローバル品質人材育成、④現地サプライヤ・製造委託先の監査・指導、等の視点も交え、課題解決のヒントとなるような新たな視点・気づきおよび、共通課題の解決策について討議を行います。
C	企業価値を高める 理念浸透・人財づくり 品質部門は経営の全体感を持ち、各部門へ働きかけ、達成してもらう事が必要となりますが、各現場が品質視点を持って自ら動く「自律組織」の実現に悩みを持つ企業様も多いかと思えます。 当グループでは、品質視点の根幹をなす「企業理念の浸透・定着」をどう進めるか、「自ら気づき・行動できる人材を育成する」ためのアプローチ法などについて、各社の抱える課題点・取り組み策を共有しながら議論し、何らかの行動提言にまとめたいと思えます。
D	これまでに経験したことの無い時代を突破する「品質保証部門の傾向と対策」 世の中の様々な動きが「これまでに経験したことの無い」と表現される昨今、品質保証部門に対して期待される役割についても、経験則に基づく発想からだけでは対応が難しい場面が増えつつあります。M&Aプロセスに於ける役回り、SDG's達成に向けた対応、品質不正を未然に防ぐガバナンス強化機能、等々。品質保証部門に期待されている新たな役割について、各社の状況を共有しながら傾向を抽出し、それに応える仕組みなどの対策を議論しましょう。

※上記以外の希望テーマでのグループ発足も検討いたします。メンバー自身でご提案頂き、新テーマを発足する事も可能です。

※参加人数によっては、テーマ変更やグループの再編、他グループへの移動をお願いする場合がございます。予めご承知おきください。

今期(第19期)の年間プログラム

開催日	内 容
第1回例会 10月31日(水) 13:00~18:00	基調講演 『スマートプロセス時代の品質保証部門の役割 ~オペレーションからイノベーションへ~』 東京工業大学 名誉教授 長田 洋 氏 工学博士 技術士 (情報処理部門) グループディスカッション オリエンテーション メンバー交流会
第2回例会 12月14日(金)~15日(土) (見学会・合宿研究会)	見学会 (株)オカムラ 御殿場事業所の見学と品質保証体制についての意見交流 <small>*ご同業企業様は見学いただけない場合がございます。予めご了承下さい。</small> 合宿研究会 テーマ別グループ討議の発足に向けての課題抽出・意見交換 <small>*静岡県御殿場市方面での宿泊研修を予定</small>
第3回例会 2019年1月17日(木) 13:00~17:00	ゲスト講演 『M&Aプロセスにおける品質保証部門の役割 (仮題)』 A.T.カーニー(株) プリンシパル 窪川 泰 氏 グループ別集中討議 チュートリアルコース 『基本に立ち返って考えるQMS入門』(10:30~12:00開催) 講演: H2Lab 代表 原 博 氏 (フォーラムアドバイザー)
第4回例会 2月7日(木) 13:00~17:00	アドバイザー講演 『品質最優先の経営革新 ~品質を挺にした経営~』 オフィスM企画 代表 松浦 強 氏 (フォーラムアドバイザー、元オリンパス(株) 品質環境本部長) グループ別集中討議
第5回例会 3月7日(木) 13:00~17:00	以降のプログラムについて 参加メンバーの皆様の問題意識、各グループの課題意識をもとにゲストを選定してまいります。 通常例会 通常例会は下記の構成で進めてまいります (時間配分は目安です)。
第6回例会 4月18日(木) 13:00~17:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">13:00 ➤ 15:00 ➤ 17:00</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ・先進の取り組み事例、アプローチ策 ・専門家による品質革新の新しい潮流、他 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">個別テーマに沿ったグループ別集中討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業相互の事例交換 ・課題解決方策の徹底追求 ・他では聞けない知識の共有、他 </div> </div> </div>
第7回例会 5月中下旬(金・土) (見学会・合宿研究会)	先進企業の第一線実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連する様々な視点からお話を伺います。 その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。 今期(第19期)は4つのテーマ(案)を挙げさせていただきました。メンバーの皆様は各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。 ホンネの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。
第8回例会 6月13日(木) 13:00~17:00	見学会・合宿研究会 5月中下旬(金、土)開催の第7回例会では、①事業所等の見学と取り組み拝聴~意見交流、②時間の制約から解放された中で、議論・討議の深化を図って頂くとともに、メンバー間の親睦も深めて頂きます。
第9回例会 7月18日(木) 13:00~17:00	次回の最終発表会に備え、グループ別の集中討議
第10回例会 9月5日(木) 13:00~18:30	I. 各グループより、討議成果報告と全体共有 II. 終了交流会~今後の研究活動推進に向けて

*上記は変更の可能性もございます。予めご了承ください。

前期(18期)の活動経過

1	(基調講演)「味の素グループのグローバル品質保証体制」 味の素(株) 上席理事 品質保証部長 深見 賢治 氏 (グループディスカッション/オリエンテーション/メンバー交流会)
2	(見学会・現地講演)トヨタ自動車東日本(株) 東富士工場の見学会と現地講演、意見交流 (合宿研究会) テーマ別グループ討議発足に向けての意見交流
3	(ゲスト講演)「NECの考えるIoTとAIを活用した次世代ものづくり」 日本電気(株) 執行役員 松下 裕 氏 (グループ別集中討議)
4	(ゲスト講演)「バンダイの安全と品質に関する取り組み」 (株)バンダイ プロダクトマネジメント部品質マネジメントチームマネージャー様 (グループ別集中討議)
5	(ゲスト講演)「品質と顧客満足向上に欠かせない、組織とリーダーのあり方」 ジャーナリスト 中小企業診断士 瀬戸川 礼子 氏 (グループ別集中討議)
6	(アドバイザー講演)「品質経営の薦め～メーカーの基本は品質～」 オフィスM企画 代表 松浦 強 氏 (グループ別集中討議)
7	(見学会・現地講演)ヤクルト(株) 福島工場の見学と現地講演、意見交流 (合宿研究会) グループ別の集中討議
8	(ゲスト講演)「IHIにおける品質工学の展開と目指す姿」 (株)IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 品質システム部主査様 (グループ別集中討議)
9	最終発表会に向け、グループ別に徹底集中討議。
10	各グループより1年間の研究討議結果についての発表会。終了後は交流会。

メンバーの声(ご参加アンケート、コメントより抜粋)

- ◆QMSの枠組みを利用した事業貢献やリスクの捉え方が非常に参考になり、自社のQMS事務局として、各部門への説明時に活用できると感じた。
- ◆自身の業務においてQMSをあまり意識したことがなかったが、ターゲットを学びインプット・アウトプットを的確に管理していく有効なツールであることが理解でき、QMSが身近に感じられ、活用の機会を増やしていきたい。
- ◆現法で現地人による品質機能設置が必要、基準やチェックリストを作っても上位階層の組織と合意しても守らない場合もあり、結局は現地の品質職能への品質マインド教育が鍵!
- ◆品質を高めるには、現場(責任部署)が自分事として行動する、そのために品証は、どう気づかせ行動させるか、「品証力と現場力」のバランスをとりながら、現場力を高めるための横串(品証の関わり)のあり方や現場力の向上施策等々について、各社の取り組み事例・工夫から議論できた。
- ◆品質理念の浸透に重要なキーワードをグループ内で検討し、品証内・社内各部門・社外サプライヤー・顧客という4つの視点からのアプローチ策、取り組みについて各社の事例や知見を知ることができた。
- ◆他社の方との意見交換を通じて、品証部門共通の悩みや他社の取り組みを知ることによって各場面での改善アイデアを得られたと考えています。

会議の風景



通常例会の風景/ゲスト講演時



グループ別集中討議の風景

チュートリアルコース『基本に立ち返って考えるQMS入門』のご案内

開催日程

第3回例会(1/17開催)前に実施
10:30~12:00

対象

第19期主登録者と副登録者のうち、チュートリアルコースにご参加を希望される方

チュートリアルコースは本例会のプレコースとの位置付けとして、今期初めてご参加されるメンバーを対象に行います。内容は、当フォーラムのアドバイザーでいらっしゃる原 博氏から、フォーラム参加の心構えや品質マネジメントの基本的な考え方について解説頂きます。

前期(第18期)ご参加メンバー一覧(主登録者および副登録者)

*敬称略・順不同

No.	会社名	所属・役職	No.	会社名	所属・役職
1	(株) アルバック	生産本部生産技術センター 品質保証部部長	31	シーシーエス (株)	品質保証部品質管理課 課長
2	小林製薬 (株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 部長	32	住友化学 (株)	情報電子化学品品質保証室 主席部員
3	シーシーエス (株)	品質保証部 部長	33	住友化学 (株)	石油化学業務室 主席部員
4	東芝マイクロエレクトロ ニクス (株)	品質・技術部 参事	34	住友化学 (株)	エネルギー・機能材料品質保証室 主席部員
5	ポーラ化成工業 (株)	品質保証部 係長	35	セントラル硝子 (株)	化学研究所 主席研究員
6	ヤマハ (株)	品質保証部 品質企画グループ 主幹	36	セントラル硝子 (株)	川崎工場管理部品質保証課 副技師
7	オフィスM企画	代表	37	ダイキン工業 (株)	空調生産本部品質管理部
8	H2 Lab.	代表	38	ダイキン工業 (株)	空調生産本部品質管理部
9	MS2i	代表	39	帝人 (株)	品質保証・コンプライアンスグループ チーム長
10	味の素 (株)	品質保証部 レギュラトリー・サイエンスグループ	40	帝人 (株)	品質保証・コンプライアンスグループ 担当課長
11	味の素 (株)	品質保証部 戦略・企画グループ マネージャー	41	パナソニック (株)	エコソリューションズ社 品質・環境部 担当部長
12	(株) アルバック	生産本部 生産技術センター 品質保証部 品質システム課	42	(株) 日立国際電気	品質保証本部 主任技師
13	(株) アルバック	人事部 人材開発室 副参事	43	(株) フジクラ	品質保証部 品質保証部長
14	イビデン (株)	CSR推進室IMS推進G	44	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 グループ長
15	イビデン (株)	CSR推進室IMS推進G	45	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 グループ長
16	宇部興産 (株)	化学カンパニー化学環境安全・ 品質保証部 主席部員	46	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 チーム長
17	宇部興産 (株)	化学カンパニー化学生産本部 品質保証グループリーダー	47	富士フイルム (株)	CSR推進部環境・品質マネジメント部 技術マネージャー
18	花王 (株)	品質保証本部 BCPH室 室長	48	富士フイルム (株)	光学・電子映像事業部 品質保証グループ
19	花王 (株)	品質保証本部 HHC室 副主席部員	49	ポーラ化成工業 (株)	品質管理課長
20	花王 (株)	品質保証本部 企画・標準化室 主任	50	オルビス (株)	品質保証室 係長
21	協立化学産業 (株)	品質保証部 部長	51	三菱鉛筆 (株)	品質保証部品質保証部長
22	キューピー (株)	品質保証本部 プロジェクトリーダー	52	三菱鉛筆 (株)	品質保証部 課長代理
23	グローリー (株)	品質保証本部 品質保証企画グループ グループマネージャー	53	(株) 村田製作所	品質保証部 品質システム2課 マネージャー
24	グローリー (株)	品質保証本部品質保証1グループ グループマネージャー	54	(株) 村田製作所	品質保証部 品質保証課
25	(株) クラレ	炭素材料事業部 品質保証課	55	(株) 村田製作所	品質保証部 品質システム1課
26	クラレトレーディング (株)	経営企画室企画管理部 QMS推進グループ	56	ヤマハ (株)	品質保証部 楽器品質保証グループ主事
27	小林製薬 (株)	品質保証監査部 国際担当課長	57	ヤマハ (株)	品質保証部 品質評価グループ リーダー
28	小林製薬 (株)	品質保証監査部 日用品品質保証監査グループ 係長	58	ヤマハ発動機 (株)	CS本部 コーポレート品質保証部 品質保 証グループ担当
29	サンスターグループ	オーラルケアカンパニー兼 ヘルス&ビューティーカンパニー 薬事/品質保証部	59	ヤマハ発動機 (株)	CS本部 コーポレート品質保証部 部長
30	サンスターグループ	オーラルケアカンパニー兼 ヘルス&ビューティーカンパニー 薬事/品質保証部	60	YKK (株)	執行役員 ファスニング事業本部 品質・環境管理室
			61	YKK (株)	工機技術本部品質・環境室 室長

一般社団法人 企業研究会のプロフィール

異業種交流による企業間ネットワークの構築と「知の交流・移転」

1948年、当時の基幹産業でありました旧鉄鋼5社の経営幹部の自主的な勉強会からスタートしました。戦後の復興とともに個別企業の経営管理諸制度の再構築について意見交流・共同研究を重ね、その成果を個別企業に反映させてきました。このような「知の交流と移転」により企業のマネジメントのレベルアップに寄与して参りました。そして今日、異業種企業による約40の研究交流会が活発に運営され、延べ1400社の強力な人材ネットワークを基盤として経営革新を担う多彩な人材が経営の実践視点から交流し、学び合っています。

参加要領

参加料

1社、1～2名様で参加の場合（主登録者＋副登録者①）※税込み

● 正会員

248,400円（本体価格230,000円）

● 一般

280,800円（本体価格260,000円）

1社、3名様で参加の場合（主登録者＋副登録者①＋副登録者②）※税込み

● 正会員

302,400円（本体価格280,000円）

● 一般

334,800円（本体価格310,000円）

*各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。*見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。
*分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。*期の途中で副登録人数の変更は応じかねますので、予めご了承下さい。

申込方法

当会のホームページからお申し込みが可能です。確認のご連絡を差し上げた後、請求書等をお送り致します。書面にてお申込みの場合は、以下の申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

体験参加について

第1回例会（10/31）は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前の体験参加が可能です。会場の雰囲気など実際にご覧頂いた上でご決定ください（人数制限がございます）。体験参加ご希望の方は、下記の申込書の体験参加の欄にチェックの上お申込みください。
※お願い 講演部分のみのご参加はお断りさせていただいております。予めご了承ください。

お申込み お問い合わせ

一般社団法人企業研究会 担当 小野原

TEL: 03-5215-3515 FAX: 03-5215-0952

e-mail: onohara@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2F

第19期 品質革新マネジメントフォーラム 申込書

事業コード: 180314

一般社団法人企業研究会 担当 小野原 宛

申込日 2018年 月 日

- 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申し込みます。
 参加検討中につき、第1回例会の体験を申し込みます。

会社名			
会社所在地（〒 ）			
主登録者 氏名	-----	所属	役職
e-mail		TEL	FAX
副登録者① 氏名	-----	所属	役職
e-mail		TEL	FAX
副登録者② 氏名	-----	所属	役職
e-mail		TEL	FAX
備考			

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本フォーラムに関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
*申込書をご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。